

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理学実験 2		選択	1	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
柗木 隆寿	B306	t.masaki		木曜日 12:30~14:30	
授業の目的・概要	<p>〈目的〉心理学における様々な実験手法を理解し、自分で実験を実施するために必要な基礎的なスキルを習得する。また、集めたデータの分析方法および研究レポートの執筆方法を習得する。</p> <p>〈概要〉心理学を専門的に学ぶ上では、講義で得られる知識だけではなく、実験や調査といった研究を行う能力の習得も重要である。本講義では、心理学における基本的な実験をグループに分かれて実施する。各個人が1テーマにつき1つのレポートを作成し、提出する。提出されたレポートは担当教員の添削指導を受けて返却される。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	心理学実験1や心理学統計法で扱った内容を復習しておくこと。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配付する。				
参考書	心理学実験を学ぼう! / 著: 小河妙子 他 / 金剛出版 心理学基礎実習マニュアル / 著: 宮谷真人 他 (代表編集) / 北大路書房				
外部教材	無し				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	心理学における実験・調査の重要性を理解し、説明することができる。			WP(5)	
②	心理学研究における様々な実験手法を理解し、実施することができる。			WP(5)	
③	得られたデータに対して適切な統計分析を行うことができる。			WP(5)	
④	研究レポートを執筆規定に従って作成することができる。			WP(5)、(6)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション: 実験の進め方について理解する。	講義	シラバス・配付資料を熟読し、本講義の概要をまとめる。	0.5	
2	1. 精神物理学的測定法: 触覚二点弁別閾と皮膚感覚の鋭敏性に関する実験を行う。(1)	講義・演習	精神物理学的測定法の種類について整理する。レポート作成に必要な情報を集め、作成する。	1	
3	1. 精神物理学的測定法: 触覚二点弁別閾と皮膚感覚の鋭敏性に関する実験を行う。(2)	講義・演習		1	
4	実験手法、レポートの書き方について学ぶ。(1)	講義・演習		1	
5	2. 知覚運動学習: 鏡映描写実験を行う。(1)	講義・演習	知覚運動学習の日常例を考える。レポート作成に必要な情報を集め、作成する。	1	
6	2. 知覚運動学習: 鏡映描写実験を行う。(2)	講義・演習		1	
7	Excel の使い方と統計処理の基礎について学ぶ。	講義・演習	資料を熟読し、講義内容を整理する。	1.5	
8	実験手法、レポートの書き方について学ぶ。(2)	講義・演習	資料を熟読し、講義内容を整理する。	1	
9	3. 認知心理学実験: ストループ効果の実験を行う。(1)	講義・演習	ストループ効果、ストループ様効果について整理する。レポート作成に必要な情報を集め、作成する。	1	
10	3. 認知心理学実験: ストループ効果の実験を行う。(2)	講義・演習		1	
11	3. 認知心理学実験: ストループ効果の実験を行う。(3)	講義・演習		1	
12	4. 質問紙法: SD 法によるイメージの分析に関する調査を行う。(1)	講義・演習	SD 法を用いた過去研究を調べる。レポート作成に必要な情報を集め、作成する。	1	
13	4. 質問紙法: SD 法によるイメージの分析に関する調査を行う。(2)	講義・演習		1	
14	4. 質問紙法: SD 法によるイメージの分析に関する調査を行う。(3)	講義・演習		1.5	
15	心理学研究における情報機器の利用方法、および研究倫理について学ぶ。	講義・演習	シラバス・配付資料を熟読し、本講義の概要をまとめる。	0.5	
試	/				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科・福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		0	60	0	0	40	100	
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	5	15	
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	10	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5	
	発表・表現伝達する力	0	20	0	0	0	20	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	5	15	
評価のポイント		評価の実施方法と注意点					フィードバックの方法	
評価方法	行動目標							
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①	✓	計 4 つのレポートの提出が単位取得には必須である。配布したレポート作成マニュアルをもとに、体裁、内容、表現力等により 10 段階で評価する。					提出されたレポートは、添削後に返却する。再提出を求められることもある。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	実験・調査への取組み（態度、質疑応答、グループ作業）、各回の課題の達成度を総合的に判断する。					講義中及びオフィスアワーにて総評を行う。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員	該当せず							
教員の実務経験	無し							
実践的授業の内容	該当せず							
そ の 他	<p>履修する学生は第 1 回目のオリエンテーションに必ず出席し、内容を確認すること。公欠等、やむを得ない理由で出席できない場合は、第 1 回目授業が始まる前までに、担当教員に必ず連絡すること。</p> <p>4 つの研究を全て経験することとレポートの全提出が単位取得の前提条件である。そのため、原則、全ての講義に出席することが必要となるので留意すること（無断欠席・遅刻は厳禁）。</p> <p>Microsoft Teams を用いて諸事の連絡を行うので確認を怠らないこと。</p> <p>また、全 15 回が登校授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。</p>							